

『なぜ生きる』 ついに…

100万部突破!

1万年堂新聞

号外

発行 1万年堂出版

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-4-20-5F
TEL.03-3518-2126 FAX.03-3518-2127
https://www.1000nen.com/

25年間、日本中で読み継がれて

祝

ミリオンセラー



生きる力と希望がわいてくる書籍として親しまれてきた『なぜ生きる』が今年2月末、ついに100万部を突破しました。2001年の発刊から25年間にわたり着実に読み継がれてのミリオンセラー——。「四半世紀もこんなに売れ続ける本はまず考えられません」「混迷の時代、これからますます生きる意味を伝えてください」など出版業界からも驚きと応援の声が寄せられています。「人生の目的は何か——。精神科医と哲学者という異色のコンビが問いかけた『なぜ

生きる』。発刊の年には早くも30万部を突破、その5年後には50万部を超えるなど「ベストセラー街道」を突き進みました。東日本大震災(2011年)では、哀しみの傷跡を前に多くの人たちが生きる意味を模索する中、年間で12万部にものぼる異例の増売を記録したこともあります。98万部を超えたのは昨年12月。ミリオンセラーも間近という新聞広告が入ると、さらに注文が増え、週間ベストセラー(トータル調べ、ノンフィクション・ライトエッセイ部門)で1月14日から6週連続のトップテン入りを果たすなど、今また書店で大きな注目を集めています。

100万部の帯で出荷スタート!

高森 顕徹 監修
明橋 大二(精神科医)
伊藤 健太郎(哲学者) 著



試し読みはこちらから



全国の書店に『なぜ生きる』の展示が広がっています。【三省堂書店 名古屋本店】

「混迷の時代の道しるべに」

書店・出版界からも応援の声

◆「ベストセラー鑑定人」と呼ばれ、『なぜ生きる』の出版にも携わった井狩春男さん「多くの人を救った黄金の書です。100万人が読んだということは、その内容の素晴らしさを証明しています。名も知らぬ、生涯出会うこともなかった多くの人たちの心の奥に届いたと思います。本にしかできないことです。100万部達成を心の底からお祝い申し上げます」◆くまざわ書店・晴海トリートン店(東京) 店長 川本知満さん 「1万年堂出版さんと

例えば、『なぜ生きる』ってイメージですね。これからも頑張ってください。私も頑張って売ります！」

◆宮脇書店・イオンモール明和店(三重) 店長 山田治郎さん 「入れ替りの激しい書店の棚で25年間、絶えることなく、多くのお客様の手に渡ったという事実は素晴らしい。混迷を極める現代社会で、どう生きればよいか迷う人の道標として、今後も150万部、200万部と版を重ねて人々の心に救いをもたらしてください」 (2面に続く)